



令和 7 年 10 月 28 日

低濃度 PCB 含有の可能性のあるコンデンサの誤処分について

【概要】

葛飾区が発注した水元図書館受変電設備改修工事（住所：葛飾区東水元一丁目 7 番 3 号）において、低濃度ポリ塩化ビフェニル（以下、「低濃度 PCB」という）の含有が疑われるコンデンサ 2 台を誤処分したことが判明しました。

誤処分された両コンデンサは、1981 年 11 月に製造されており、メーカーから低濃度 PCB の含有が否定できないと報告を受けております。

PCB が含有されている場合、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」等により適正な保管及び処理が義務付けられており、今回の工事では、両コンデンサを取外し所定の場所に保管の後、PCB 含有の検査を実施することになっていました。しかし、誤って一般廃棄物として区外の産業廃棄物中間処理場に搬出し圧縮梱包の後、最終処分場から製鉄所に持ち込まれ溶解処分されました。

【経緯】

9 月 22 日：工事中に誤って該当コンデンサを区外の間処理業者に受け渡す

9 月 24 日：中間処理場で圧縮梱包の後、最終処分場に搬出、最終処分場から製鉄所に搬出

同日：区が事実を確認、追跡調査を行う

同日：コンデンサの製造会社に該当コンデンサの PCB 含有量の確認を依頼

10 月 7 日：コンデンサの製造会社より微量の PCB が混入した可能性は否定できないと回答を得る

【誤処分されたコンデンサ】

種類	容量	製造会社	製造年	型式	製造番号	油量	PCB 濃度
高圧進相コンデンサ	50kVA	日新電機(株)	1981. 11 月	PET-CK	49982	7 L	0.5 mg/kgを超え、5,000 /kg以下の可能性あり
高圧進相コンデンサ	30kVA	日新電機(株)	1981. 11 月	PET-CK	52868	6 L	0.5 mg/kgを超え、5,000 /kg以下の可能性あり

なお、今回誤処分した物と同年代の電気機器をメーカーがサンプル調査(全調査数 164 台)した結果では、電力用コンデンサ及びコンデンサ油を使用する機器から PCB が検出された事例はありません。

【再発防止策】

本件は、発注者としても説明方法や確認体制に不備がありました。今後より一層 PCB 機器等の取扱に関し全庁的な周知を徹底し、工事請負業者への連絡・指導を徹底するとともに、撤去工事着手時に改めて区と工事請負業者で低濃度 PCB 含有の可能性のある機器の保管場所及び指定保管場所に保管されていることを必ず確認するよう管理体制の強化を図ってまいります。

【問い合わせ先】 施設部施設整備担当課